

## 令和4年度 学校関係者評価報告書

令和4年度自己点検・自己評価項目に添い、学校関係者評価委員に本校の自己点検結果について採点と講評いただきました。

その結果一覧について以下に公表いたします。なお数値化された採点の評価基準については以下の通りです。

[ 4 = 適切 / 3 = ほぼ適切 / 2 = やや不適切 / 1 = 不適切 ]

### ◆基準1 教育理念・目標

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	4	4	4	4	3	3.7	4
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3	3	3	3	4	4	3	3.3	3
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4

価 委 員 関 係 者 意 見 評	<p>▶ 教育方針として、「感謝」(学修環境や健康に感謝する心を学ぶ)、「自他共栄」(人間関係の重要性を学ぶ)、「自律」(自ら学ぶ心を修得)の3つを軸としたCM教育(cultivate morality)を取り入れており、学生にはオープンキャンパスや入学式などで周知をしている。一方で、保護者の皆様には周知不足を感じているので、今後の課題として、継続して取り組んでいく必要がある(上記項目1-4)。</p>
---	---

### ◆基準2 学校運営

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4	3	4	4	4	4	3.9	3
2-4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	4	4	3	4	4	4	3.9	4
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	4	4	4	4	3	3.7	4
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	3	3	4	4	4	3.6	3
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4

学 校 委 員 関 係 者 意 見 評 価	<p>▶ コロナ禍による影響はあったものの、感染対策には注意しつつ来校型オープンキャンパスを実施、学生スタッフの成長もあり、学生との対話により受験にいたるケースが増加した。</p> <p>▶ 高校ガイダンスの参加を増やし、高校生に対して直接アプローチする広報を強化することで、入学定員165名に対して147名の入学者を迎えることができ、令和4年4月の充足率が59.6%だったのに対し、令和5年4月の充足率は76.4%に上昇した。</p> <p>▶ 個別案件については、本校の最高意思決定期間である教務会にて審議・決定している場合もある(上記項目2-3)</p> <p>▶ 必要な情報はホームページにて公開をしているが、事務所内の公開で良い場合はホームページで公開していない場合もある(上記項目2-7)</p> <p>▶ 名古屋平成看護医療専門学校ブランド力を高めていくために、評価委員の先生方からのより多くのご意見を反映できるよう改善するとともに、令和5年度は学校として組織開発に取り組んでいきたい。</p>
---	--

◆基準3 教育活動

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	4	4	4	4	3	3.7	3
3-6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	3
3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4	4	4	4	4	3	3.9	4
3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4	3	3	4	4	4	3.7	3
3-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4	3	3	4	3	4	3.6	3
3-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4	3	3	4	3	4	3.6	3
3-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4	3	3	3	3	4	3.4	3
3-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4	3	3	3	3	3	3.3	3

学校関係者意見評価	<p>▶地域包括支援センターの指導を受けて認知症カフェを2回開催した。また、こうした認知症カフェの活動が評価され、日本看護学校協議会主催の「私の学校自慢」で優秀賞を受賞することができた。</p> <p>▶学校法人 河合塾学園からの設置変更後、名古屋平成看護医療専門学校として全学科・全学年が充足となる完成年度となったため、キャリア教育ならびに国家試験や資格取得対策に関しては再構築をおこなう必要がある。</p>
-----------	---

◆基準4 学修成果

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
4-1	就職率の向上が図られているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	3	3	3	3	3	4	4	3.3	2
4-3	退学率の低減が図られているか	3	3	3	3	3	3	4	3.1	3
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3	3	3	3	4	4	3.3	3
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	3	4	4	4	4	4	3.7	4

学校関係者意見	<p>▶令和4年度は、看護学科卒業生27名中就職希望の21名、柔道整復学科卒業生6名中就職希望の4名、はり・きゅう学科卒業生21名中就職希望の16名、アスレティックトレーナー学科15名中6名が関連分野に就職した。アスレティックトレーナー学科卒業生の内7名は医療系国家資格取得を目指して、本校の医療専門課程学科に在籍している。</p> <p>▶令和4年度新卒者の国家試験受験者は看護学科26名、理学療法学科6名、柔道整復学科6名、はり・きゅう学科21名に対して、合格者は看護学科18名、理学療法学科5名、柔道整復学科1名、はり・きゅう学科20名であった。</p> <p>▶文化・教養専門課程であるアスレティックトレーナー学科では、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー理論試験は全受験者17名中5名が合格、実技試験は全受験者5名中3名が合格であった。今回の結果を受けて、合格者累計は80名となっている。</p> <p>▶令和4年度は、令和3年度の約2倍の卒業生を、すべての学科より輩出する状況を受けて、国家資格キャリアコンサルタント資格取得者であるキャリアアドバイザーを2名配置し、就職希望者を対象に応募書類作成、面接対策を実施した。</p> <p>▶国家試験対策に関しては、各学科の状況を分析し、自律的学習に向けた対応、グループワーク・アウトプットトレーニングの強化、よりきめ細かい個別支援の徹底などの対策を講じることで、合格率100%を目指す。</p>
---------	--

◆基準5 学生支援

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	3	3	3	3	3	4	3.1	2
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4	4	4	4	4	3	3.9	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	3	4	4	3	4	3.6	3
5-7	保護者と適切に連携しているか	4	3	3	2	4	4	4	3.4	3
5-8	卒業生への支援体制はあるか	3	3	3	2	3	4	3	3	3
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	4	3	3	3	3	3	3.1	3
5-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	4	3	2	3	4	3	3.1	2

学校関係者意見評価	<p>▶就職支援プログラムについて、専門のキャリアアドバイザーが常駐することで、キャリア面談を活用しながら就職活動を進めることができる体制を構築した。今後は、全体支援に関する体制を整備する必要があるため、各学科でのキャリアガイダンス実施に向けて取り組むことを検討していく。</p>
-----------	--

◆基準6 教育環境

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	4	3	4	4	4	4	3.7	3
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	3	3	4	4	3	4	3.4	3
6-3	防災に対する体制は整備されているか	3	4	3	3	4	4	3	3.4	3

学校関係者意見評価	<p>▶地域住民との調整が長引くことで建築が遅れていた「柔道場」については、本校建物内で建設することが決定し、県庁主管課への申請・届出も完了、令和5年5月に完成した。なお、怪我防止等の安全面での対策として、床と畳の間にスプリングを設置した。</p> <p>▶全館LED化を実施。電気代の削減、電球交換のコスト・手間の削減が見込める。</p> <p>▶実施が遅れている空調設備等の大規模修繕については、各学科における教育活動等の進捗状況を考慮したうえで、優先順位の高い校舎及び教室から計画的に行えるよう再計画中である。</p>
-----------	--

◆基準7 学生の受入れ募集

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	4	3	2	4	4	4	3.4	3
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	4	3	3	3	3	4	3.3	3
7-3	学納金は妥当なものとなっているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	4

学校関係者 意見 評価 委員	▶本校を志望する方々との「直接対話」に重点を置いている。オープンキャンパス・体験授業・入学相談会・進学ガイダンス等、可能なかぎり志願者と対面することで、教員や在校生とのふれあいを大切にし、教育運営の説明に努め、質問に答える等、本校を知ってもらえる対応に日々取り組んでいる。
	▶令和5年度に向けては、入学者確保に向けたSNS活用など、高校生獲得に向けた広報活動を強化するとともに、来校型オープンキャンパス・高校訪問を強化することにより、高等学校との信頼関係を強化し、推薦入学者が安定的に確保できるよう取り組んでいく。

◆基準8 財務

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4	3	3	4	3	4	3.6	3
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4

学校関係者 意見 評価 委員	▶平成医療学園全体の令和4年度事業収支計算書における経常収支差額はプラスになるとともに、名古屋平成看護医療専門学校単体としてもプラスとなった。充足率は令和4年4月の59.6%に対して、令和5年4月は76.4%に増加しており、財務状況は徐々に改善している。
-------------------------	---

◆基準9 法令等の順守

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
9-1	法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4

学校関係者 意見 評価 委員	▶令和4年度は本校建物内に建築した「柔道場」について、県庁主管課への申請・届出を実施・完了した。
-------------------------	--

◆基準10 社会貢献・地域貢献

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3	3	3	3	4	4	3.3	3
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	4
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	3	3	3	3	3	3.1	3

価 委 員 関 係 者 意 見 評	<p>▶令和4年度は、地域包括支援センターの指導により開設した「認知症カフェ」を10月と3月に実施し、日本看護学校協議会主催「わたしの学校自慢」において優秀賞を受賞した。</p> <p>▶医療福祉系イベントや地域貢献活動については、今後も可能な限り参加する方向で考えていきたい。</p>
---	---

令和5年8月24日

学校法人 平成医療学園  
名古屋平成看護医療専門学校  
校長 高木 保子